

令和8年度

# 市政の運営方針

令和8年6月2日



「市政の運営方針」といたしまして、私が市政運営に臨む上での基本的な考え方を述べさせていただきます。

まず、私の使命は「市民の皆様のための政治を行う」ことにほかなりません。本年度における市政の方向性を維持しつつ、課題解決を目指してまいります。

さて、5月15日に開催いたしました第1回東金市議会臨時会におきまして、私の所信の一端として、市政運営を行う上での「4つの基本姿勢」、組織を運営する上での「2つの組織方針」、政策の方向性としての「3つの幹」について、お話しをさせていただきました。

まず、4つの基本姿勢につきましては、「公平公正で、市民の声が届く市政の実現」、「市政の透明性を確保するための情報開示」、「広域行政の必要性」、「財政の健全化」でございます。

就任から1か月、多くの皆様とお会いし、様々な御意見を

伺っております。このように、市民の皆様がご自身の考えを声に出し、それを行政が受け止めるというやり取りの積み重ねこそが、相互の信頼関係を構築するとともに、分かりやすい市政に繋がるものと考えております。

次に、組織を運営するに当たっての「2つの方針」とは、「法令遵守の徹底」と「和と団結」でございます。

市民の皆様のための政治を行うために、法令遵守に裏打ちされた組織の力を活かし、職員の皆様とともに、行政サービスの維持・向上を図り、組織の在り方をアップデートしてまいります。

かねてより私が進むべき方向性として重視している「3つの幹」として、「政策」「教育」「対話」をお示しさせていただいております。

まず「政策」に関しましては、公共施設の最適化と適正配置、いわゆる「ダウンサイジング」という方針のもと、進めてまいります。

人口の減少、少子高齢化による税収減と、世界情勢や予測の難しい不確かな時代の中においては、持続可能性を担保した施策でなければなりません。

つきましては、今回の一般会計補正予算におきまして、「市役所周辺地域公共施設等最適化推進事業」を計上いたしました。令和7年度に実施した「公共施設等最適化検討基礎調査」の結果を踏まえて、市役所周辺地域における公共施設等の最適化に係る基本構想及び基本計画の策定を進めるものでございます。

今後、公共施設は適正な規模へと移行していくことが肝要であります。適正化を図るうえでは、賢く縮める「縮小」と質や満足度を高める「充実」、その2つの軸を合わせた「縮充」という考えのもと、基本構想及び基本計画の策定を行ってまいります。

「教育」に関しましては、今回の補正予算では、「小中学校コンピュータ事業」として、ICTを活用した学習活動のために、新たに電子黒板を購入し、各校の普通教室で使用でき

るようにするものでございます。

また、物価高騰に直面する保護者の負担を軽減するため、中学校給食費の無償化を図るための事業として、国の重点支援地方交付金を活用し、今回の一般会計補正予算で計上しております。

こうした教育施策を進めることで、担税力のある「子育て世代に選んでいただけるまち」、「教育日本一のまち」東金の実現に努めてまいりたいと考えております。

昨今、国際情勢の不透明さ、物価高騰の影響などにより、各種の固定的経費が増加し、各御家庭の家計への影響も看過できない状況が続いております。これらの状況を踏まえ、「公共交通事業者緊急支援事業」「商店街街路灯管理費補助金」「指定ごみ袋製作配送管理業務委託料」といった、市民生活を支えるための事業者支援施策を、このたびの一般会計補正予算に計上いたしました。

こうした社会情勢を的確に見極めつつ、不易流行の考えの

もと、先人の皆様が熱き「志」とともに築かれてきた歴史や文化を受け継ぎ、私の掲げる3つの幹を掲げ、「政策で未来の道筋を示し、教育でその道を歩む人を育て、対話でその歩みを支える絆をつくる」ことにより、より強く、より豊かな東金の未来を創造してまいりたいと考えております。